

審判員及び審判指導者に関する規則改正(案)

加筆 _____ 修正 ; _____ 削除 ; _____

現行	改正案	備考
<p style="text-align: center;">審判及び審判指導者に関する規則</p> <p style="text-align: center;">第1節 総則</p> <p>第1条〔目的〕 本規則は、公益財団法人日本サッカー協会（以下「本協会」という）及び本協会管轄下のサッカー協会に登録されたサッカー競技の審判員（以下「サッカー審判員」という）及びフットサル競技の審判員（以下「フットサル審判員」という）並びにサッカー審判員の指導者（以下「サッカー審判指導者」という）及びフットサル審判員の指導者（以下「フットサル審判指導者」という）の資格及び地位に関する事項を定めることを目的とする。</p> <p>第2条〔本協会の統制〕 本協会は、日本国内において行われるすべてのサッカー競技及びフットサル競技の審判に関する事項について統制する権限を持つ。</p> <p>第3条〔公式試合のサッカー審判員及びフットサル審判員、サッカー審判指導者及びフットサル審判指導者〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 本協会に登録されたサッカー審判員及びフットサル審判員（以下「審判員」という）以外の者は、日本国内における一切の公式試合の審判活動を行うことはできない。ただし、本協会が招聘した外国人審判員はこの限りではない。 本協会に登録されたサッカー審判指導者及びフットサル審判指導者（以下「審判指導者」という）以外の者は、本国内に 	<p style="text-align: center;">審判員及び審判指導者に関する規則</p> <p style="text-align: center;">第1節 総則</p> <p>第1条〔目的〕 本規則は、公益財団法人日本サッカー協会（以下「本協会」という）及び本協会管轄下のサッカー協会に登録されたサッカー競技の審判員（以下「サッカー審判員」という）及びフットサル競技の審判員（以下「フットサル審判員」という）並びにサッカー審判員の指導者（以下「サッカー審判指導者」という）及びフットサル審判員の指導者（以下「フットサル審判指導者」という）の資格及び地位に関する事項を定めることを目的とする。</p> <p>第2条〔本協会の統制〕 本協会は、日本国内において行われるすべてのサッカー競技及びフットサル競技の審判に関する事項について統制する権限を持つ。</p> <p>第3条〔公式試合のサッカー審判員及びフットサル審判員、サッカー審判指導者及びフットサル審判指導者〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 本協会に登録されたサッカー審判員及びフットサル審判員（以下「審判員」という）以外の者は、日本国内における一切の公式試合の審判活動を行うことはできない。ただし、本協会が招聘した外国人審判員はこの限りではない。 本協会に登録されたサッカー審判指導者及びフットサル審判指導者（以下「審判指導者」という）以外の者は、本国内に 	<p>基本規程第138条にある「別途制定する『審判員及び審判指導者に関する規則』という表記に合わせる</p>

おける一切の公式試合の審判員を指導することはできない。
ただし、本協会が招聘した外国人審判指導者はこの限りではない。

第2節 審判員の資格

第4条〔資格の種類〕

審判員の資格は、次の9種類とする。

- (1) 1級審判員
- (2) 女子1級審判員
- (3) 2級審判員
- (4) 3級審判員
- (5) 4級審判員
- (6) フットサル1級審判員
- (7) フットサル2級審判員
- (8) フットサル3級審判員
- (9) フットサル4級審判員

第5条〔技能の区分〕

1. 1級審判員は、本協会が主催等するサッカー競技の試合（以下「試合」という）の主審を行う技能を有する者とする。
2. 女子1級審判員は、本協会管轄の第2種、第3種、第4種及び女子の試合の主審を行う技能を有する者とする。
3. 2級審判員は、地域サッカー協会が主催する試合の主審を行う技能を有する者とする。
4. 3級審判員は、都道府県サッカー協会が主催する試合の主審を行う技能を有する者とする。
5. 4級審判員は、都道府県サッカー協会を構成する支部及び地区／市区郡町村サッカー協会の傘下の団体、連盟等が主催する試合の主審を行う技能を有する者とする。なお、4級審判員で特に優れた技能を有すると都道府県サッカー協会の審判委員会が認めた者については、都道府県サッカー協会主催の試合において、主審を行うことができる。

おける一切の公式試合の審判員を指導することはできない。
ただし、本協会が招聘した外国人審判指導者はこの限りではない。

第2節 審判員の資格

第4条〔資格の種類〕

審判員の資格は、次の9種類とする。

- (1) 1級審判員
- (2) 女子1級審判員
- (3) 2級審判員
- (4) 3級審判員
- (5) 4級審判員
- (6) フットサル1級審判員
- (7) フットサル2級審判員
- (8) フットサル3級審判員
- (9) フットサル4級審判員

第5条〔技能の区分〕

1. 1級審判員は、本協会が主催等するサッカー競技の試合（以下「試合」という）の主審を行う技能を有する者とする。
2. 女子1級審判員は、本協会管轄の第2種、第3種、第4種及び女子の試合の主審を行う技能を有する者とする。
3. 2級審判員は、地域サッカー協会が主催する試合の主審を行う技能を有する者とする。
4. 3級審判員は、都道府県サッカー協会が主催する試合の主審を行う技能を有する者とする。
5. 4級審判員は、都道府県サッカー協会を構成する支部及び地区／市区郡町村サッカー協会の傘下の団体、連盟等が主催する試合の主審を行う技能を有する者とする。なお、4級審判員で特に優れた技能を有すると都道府県サッカー協会の審判委員会が認めた者については、都道府県サッカー協会主催の試合において、主審を行うことができる。

6. フットサル1級審判員は、本協会が主催するフットサル競技の試合（以下「フットサル試合」という）の主審及び第2審判を行う技能を有する者とする。
7. フットサル2級審判員は、地域サッカー協会が主催するフットサル試合の主審及び第2審判を行う技能を有する者とする。
8. フットサル3級審判員は、都道府県サッカー協会が主催するフットサル試合の主審及び第2審判を行う技能を有する者とする。
9. フットサル4級審判員は、都道府県サッカー協会を構成する支部及び地区／市区郡町村サッカー協会の傘下の団体・連盟等が主催するフットサル試合の主審及び第2審判を行う技能を有する者とする。なお、フットサル4級審判員で特に優れた技能を有すると都道府県サッカー協会の審判委員会が認めた者については、都道府県サッカー協会主催のフットサル試合において主審及び第2審判を行うことができる。

第6条〔資格の認定〕

1. 1級審判員の資格は、2級審判員及び女子1級審判員のうちから、本協会又は地域サッカー協会主催の1級審判員認定審査会において適格と認められた者に対して本協会が認定する。1級審判員認定審査会の開催基準については、本協会審判委員会が定める。
2. 女子1級審判員の資格は、女子の2級審判員のうちから、本協会又は地域サッカー協会主催の女子1級審判員認定審査会において適格と認められた者に対して本協会が認定する。女子1級審判員認定審査会の開催基準については、本協会審判委員会が定める。
3. 2級審判員の資格は地域サッカー協会が、3級及び4級審判員の資格は都道府県サッカー協会が、それぞれの協会が主催する認定審査会において適格と認められた者に対して本協会が認定する。各級の審判員認定審査会の開催基準については、本協会審判委員会が定める。
4. フットサル1級審判員の資格は、フットサル2級審判員、1

6. フットサル1級審判員は、本協会が主催するフットサル競技の試合（以下「フットサル試合」という）の主審及び第2審判を行う技能を有する者とする。
7. フットサル2級審判員は、地域サッカー協会が主催するフットサル試合の主審及び第2審判を行う技能を有する者とする。
8. フットサル3級審判員は、都道府県サッカー協会が主催するフットサル試合の主審及び第2審判を行う技能を有する者とする。
9. フットサル4級審判員は、都道府県サッカー協会を構成する支部及び地区／市区郡町村サッカー協会の傘下の団体・連盟等が主催するフットサル試合の主審及び第2審判を行う技能を有する者とする。なお、フットサル4級審判員で特に優れた技能を有すると都道府県サッカー協会の審判委員会が認めた者については、都道府県サッカー協会主催のフットサル試合において主審及び第2審判を行うことができる。

第6条〔資格の認定〕

1. 1級審判員の資格は、2級審判員及び女子1級審判員のうちから、本協会又は地域サッカー協会主催の1級審判員認定審査会において適格と認められた者に対して本協会が認定する。1級審判員認定審査会の開催基準については、本協会審判委員会が定める。
2. 女子1級審判員の資格は、女子の2級審判員のうちから、本協会又は地域サッカー協会主催の女子1級審判員認定審査会において適格と認められた者に対して本協会が認定する。女子1級審判員認定審査会の開催基準については、本協会審判委員会が定める。
3. 2級審判員の資格は地域サッカー協会が、3級及び4級審判員の資格は都道府県サッカー協会が、それぞれの協会が主催する認定審査会において適格と認められた者に対して本協会が認定する。各級の審判員認定審査会の開催基準については、本協会審判委員会が定める。
4. フットサル1級審判員の資格は、フットサル2級審判員、1

級審判員及び女子1級審判員のうちから、本協会又は地域サッカー協会主催のフットサル1級審判員認定審査会において適格と認められた者に対して本協会が認定する。フットサル1級審判員認定審査会の開催基準については、本協会審判委員会が定める。

5. フットサル2級審判員の資格は地域サッカー協会が、フットサル3級及び4級審判員の資格は都道府県サッカー協会が、それぞれの協会が主催する認定審査会において適格と認められた者に対して本協会が認定する。各級の審判員認定審査会の開催基準については、本協会審判委員会が定める。
6. 第3項及び第5項の規定にかかわらず、本協会は、2級、3級及び4級審判員の資格認定を行うことができる。
7. 審判技能が著しく低下した場合及び所定の義務を著しく怠った場合、本協会又は該当する審査協会は、その協会の審議を経て、その審判員の降級を行う。
8. 前各項の規定にかかわらず、本協会は、外国で審判資格を取得した者については、その技能により適切なサッカー審判員又はフットサル審判員の資格を適宜認定することができる。

第7条〔資格の認定期間〕

認定期間を次のとおりとする。

- (1) 資格を新規に取得した者は、認定月日から当該年度末（3月31日）までとする。
- (2) 資格を更新する者は、4月1日から当該年度末（3月31日）までとする。

第8条〔資格認定における除外事由〕

審判活動の遂行に支障があると認められる者に審判資格を認定することはできない。

第3節 審判員の登録

級審判員及び女子1級審判員のうちから、本協会又は地域サッカー協会主催のフットサル1級審判員認定審査会において適格と認められた者に対して本協会が認定する。フットサル1級審判員認定審査会の開催基準については、本協会審判委員会が定める。

5. フットサル2級審判員の資格は地域サッカー協会が、フットサル3級及び4級審判員の資格は都道府県サッカー協会が、それぞれの協会が主催する認定審査会において適格と認められた者に対して本協会が認定する。各級の審判員認定審査会の開催基準については、本協会審判委員会が定める。
6. 第3項及び第5項の規定にかかわらず、本協会は、2級、3級及び4級審判員の資格認定を行うことができる。
- ~~7. 審判技能が著しく低下した場合及び所定の義務を著しく怠った場合、本協会又は該当する審査協会は、その協会の審議を経て、その審判員の降級を行う。~~
7. 前各項の規定にかかわらず、本協会は、外国で審判員資格を取得した者については、その技能により適切なサッカー審判員又はフットサル審判員の資格を適宜認定することができる。

第7条〔資格の有効期間〕

認定後の有効期間は次のとおりとする。なお、年度とは、4月1日から翌年3月31日までの期間をいう。

- (1) 資格を新規に認定された者は、認定月日から当該年度末日（3月31日）までとする。
- (2) 資格を更新する者は、4月1日から当該年度末日（3月31日）までとする。

第8条〔資格認定における除外事由〕

審判員活動の遂行に支障があると認められる者に審判員資格を認定することはできない。

第3節 審判員の登録

この条項から削除し、第16条に記載する

文言の修正

文言の修正

「年度」を定義する

文言の修正

文言の修正

第9条〔資格の新規登録〕

4級審判員の新規登録は、以下のとおりとする。

- (1) 本協会が新規に資格を認定した審判員は、それぞれの所属する都道府県サッカー協会に所定の登録料を納付して新規登録の事務手続きを行わなければならない。
- (2) 本協会は、審判員の資格認定証として審判証を交付する。

第10条〔資格の更新〕

審判員の資格の更新は、以下のとおりとする。

- (1) 審判員が翌年度にその資格の更新を希望する場合、資格有効期間内に更新の審査をする協会が定める講習を受講し、かつ本協会が定めた登録料を支払わなければならない。
- (2) 本協会は、更新を終了した審判員の資格認定証として審判証を交付する。

第11条〔登録料〕

- 1. 審判員は、本協会、地域サッカー協会又は都道府県サッカー協会が定める登録料を、所属する都道府県サッカー協会に納付しなければならない。
- 2. 本協会への登録料は、毎年1年分を納付するものとする。
- 3. 本協会登録料の金額は、次のとおりとする。

(1) 1級審判員	20,000円
(2) 女子1級審判員	12,000円
(3) 2級審判員	5,000円
(4) 3級審判員	3,000円
(5) 4級審判員	2,500円
(6) 3級審判員(18歳未満)	1,000円
(7) 4級審判員(18歳未満)	500円
(8) フットサル1級審判員	12,000円
(9) フットサル2級審判員	5,000円
(10) フットサル3級審判員	3,000円
(11) フットサル4級審判員	2,500円

第9条〔資格の新規登録〕

4級審判員の新規登録は、以下のとおりとする。

- (1) 本協会が新規に資格を認定した審判員は、それぞれの所属する都道府県サッカー協会に所定の登録料を納付して新規登録の事務手続きを行わなければならない。
- (2) 本協会は、審判員の資格認定証として審判証を発行する。

第10条〔資格の更新〕

審判員の資格の更新は、以下のとおりとする。

- (1) 審判員が翌年度にその資格の更新を希望する場合、資格有効期間内に更新の審査をする協会が定める講習を受講し、適格と認定され、かつ本協会定めた登録料を支払わなければならない。
- (2) 本協会は、更新を終了した審判員の資格認定証として審判証を発行する。

第11条〔登録料〕

- 1. 審判員は、本協会、地域サッカー協会又は都道府県サッカー協会が定める登録料を、所属する都道府県サッカー協会に納付しなければならない。
- 2. 本協会への登録料は、毎年1年分を納付するものとする。
- 3. 本協会登録料の金額は、次のとおりとする。

(1) 1級審判員	20,000円
(2) 女子1級審判員	12,000円
(3) 2級審判員	5,000円
(4) 3級審判員	3,000円
(5) 4級審判員	2,500円
(6) 3級審判員(18歳未満)	1,000円
(7) 4級審判員(18歳未満)	500円
(8) フットサル1級審判員	12,000円
(9) フットサル2級審判員	5,000円
(10) フットサル3級審判員	3,000円
(11) フットサル4級審判員	2,500円

電子証のことも見据えての文言修正

第6条「資格の認定」にある「適格と認められた者」という文言を当条項に加筆

電子証のことも見据えての文言修正

<p>(12) フットサル3級審判員（18歳未満） 1,000円 (13) フットサル4級審判員（18歳未満） 500円</p> <p>4. 資格を更新する審判員の年齢は、更新手続きを行う年度開始日の前日（3月31日現在）の年齢とする。</p> <p>第12条〔届出〕 審判員は、届出済の審判員情報に変更を生じた場合、可及的速やかに所定の手続きにより変更しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">第4節 審判員の義務</p> <p>第13条〔義務〕</p> <p>2. 審判員は、所定の講習、研修会等に参加し、自己の審判技術の向上に努め、積極的に審判活動を行わなければならない。</p> <p>1. 審判員は、主審を行った試合の審判報告書を、その試合日を含む2日以内に、その試合の主催サッカー協会長あてに送付しなければならない。</p> <p>3. 傷病、妊娠等のため、審判活動を1年以上休止した審判員は、活動再開に際し、所定の講習、研修会等に出席しなければ</p>	<p>(12) フットサル3級審判員（18歳未満） 1,000円 (13) フットサル4級審判員（18歳未満） 500円</p> <p>4. 資格を更新する審判員の年齢は、更新手続きを行う年度開始日の前日（3月31日現在）の年齢とする。</p> <p>第12条〔届出〕 審判員は、届出済の審判員情報に変更を生じた場合、可及的速やかに所定の手続きにより変更しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">第4節 審判員の義務</p> <p>第13条〔<u>遵守義務</u>〕</p> <p><u>1. 審判員は、次の事項を遵守しなければならない。</u></p> <p>(1) <u>法令、本協会基本規程及びこれに付随する諸規程等を遵守すること。</u></p> <p>(2) <u>競技規則等を正しく理解し、常に公平公正な判定を行い、日本のサッカー発展に貢献すること。</u></p> <p>(3) <u>所定の講習、研修会等に参加し、審判技能の向上に努めるとともに、審判員としての自覚と責任をもって行動すること。</u></p> <p>(4) <u>試合に関して不正行為又は操作を疑われることのないよう自らを厳しく律すること。</u></p> <p>(5) <u>差別及び暴力の根絶に向けた努力を継続すること。</u></p> <p>(6) <u>暴力団など反社会的勢力とは一切関係をもたないこと。</u></p> <p>(7) <u>暴力団など反社会的勢力との取引及びあらゆる不当要求を拒否すること。</u></p> <p><u>2. 審判員は、審判活動について、次の事項を遵守しなければならない。</u></p> <p>(1) <u>主審を行った試合の審判報告書を、所定の期日以内に、その試合の主催サッカー協会長あてに送付すること。</u></p> <p>(2) <u>傷病、妊娠等のため、審判活動を1年以上休止した場合は、活動再開に際し、所定の講習、研修会等に出席</u></p>	<p>指導者に関する規則「<u>遵守義務</u>」を参考にして加筆</p> <p>審判員としての義務をより明確化</p>
--	--	--

らない。

第14条〔服装等〕

審判員の服装は、シャツ、ショーツ及びストッキングのいずれも黒色であることを基本とするが、シャツについては他の色のものを着用することも認める。ただし、いずれの場合も、競技者の服装と明確に区別できる色で、かつ、当該試合を担当する審判員の服装が統一されていることを原則とする。

第5節 審判員の養成

第15条〔審判講習会〕

1. 本協会は、審判技術向上のため、1級、女子1級審判員講習会を年2回以上、フットサル1級審判員講習会を年1回以上開催する。
2. 審判技術向上のため、地域サッカー協会はサッカー及びフットサルの2級審判員講習会を、都道府県サッカー協会はサッカー及びフットサルの3級、4級審判員講習会を、それぞれ年1回以上開催する。

すること。

第14条〔服装等〕

審判員の服装は、シャツ、ショーツ及びストッキングのいずれも黒色であることを基本とするが、シャツについては他の色のものを着用することも認める。ただし、いずれの場合も、競技者の服装と明確に区別できる色で、かつ、当該試合を担当する審判員の服装が統一されていることを原則とする。

第5節 審判員の育成

第15条〔審判講習会〕

1. 本協会は、審判技術向上のため、1級、女子1級審判員講習会を年2回以上、フットサル1級審判員講習会を年1回以上開催する。
2. 審判技術向上のため、地域サッカー協会はサッカー及びフットサルの2級審判員講習会を、都道府県サッカー協会はサッカー及びフットサルの3級、4級審判員講習会を、それぞれ年1回以上開催する。

第6節 審判員の資格適格性の再審査及び指導

第16条〔審判員の資格適格性に対する再審査及び指導〕

1. 本協会、該当する地域サッカー協会又は都道府県サッカー協会は、次の各号に該当する場合、審判員の資格適格性に対する再審査を行うことができる。
 - (1) 第5条に規定する技能を有すると認められない場合
 - (2) 第13条に違反した場合
 - (3) 第31条に定める機関において懲罰が科せられた場合
 - (4) その他審判員の資格適格性に疑義が生じた場合
2. 本協会、該当する地域サッカー協会又は都道府県サッカー協会は、審判員の資格適格性に対する再審査の結果、審判員へ

文言の修正

指導者に関する規則「ライセンス保持者へのライセンス適格性の再審査及び指導」に準ずる

第6節 審判指導者の資格

第16条〔資格の種類〕

本協会が認定及び管轄する審判指導者の資格は、次の7種類とする。

- (1) S級審判インストラクター
- (2) 1級審判インストラクター
- (3) 2級審判インストラクター
- (4) 3級審判インストラクター
- (5) フットサル1級審判インストラクター
- (6) フットサル2級審判インストラクター
- (7) フットサル3級審判インストラクター

第17条〔技能の区分〕

1. S級審判インストラクターは、1級以下のサッカー審判インストラクター並びに1級以下のサッカー審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。
2. 1級審判インストラクターは、2級以下のサッカー審判インストラクター並びに1級以下のサッカー審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。
3. 2級審判インストラクターは、3級のサッカー審判インスト

次の指導を行うことができる。

- (1) 注意（口頭による注意）
- (2) 嚴重注意（文書による注意）
- (3) 審判員資格の停止（一定期間の審判員資格の停止）
- (4) 審判員資格の降級（下位の審判員資格への変更）
- (5) 審判員資格の失効（審判員資格を失効させるが、4級審判員又はフットサル4級審判員への申請は妨げない）
- (6) 本項第1号から第5号に代えて、又は第1号から第5号と併せて、一定期間の社会奉仕活動への従事、書面による反省文の提出その他必要な指導

第7節 審判指導者の資格

第17条〔資格の種類〕

本協会が認定及び管轄する審判指導者の資格は、次の7種類とする。

- (1) S級審判インストラクター
- (2) 1級審判インストラクター
- (3) 2級審判インストラクター
- (4) 3級審判インストラクター
- (5) フットサル1級審判インストラクター
- (6) フットサル2級審判インストラクター
- (7) フットサル3級審判インストラクター

第18条〔技能の区分〕

1. S級審判インストラクターは、1級以下のサッカー審判インストラクター並びに1級以下のサッカー審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。
2. 1級審判インストラクターは、2級以下のサッカー審判インストラクター並びに1級以下のサッカー審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。
3. 2級審判インストラクターは、3級のサッカー審判インスト

ラクター並びに2級以下のサッカー審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。

4. 3級審判インストラクターは、3級以下のサッカー審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。
5. フットサル1級審判インストラクターは、2級以下のフットサル審判インストラクター並びに1級以下のフットサル審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。
6. フットサル2級審判インストラクターは、フットサル3級審判インストラクター並びに2級以下のフットサル審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。
7. フットサル3級審判インストラクターは、3級以下のフットサル審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。

第18条〔資格の認定〕

1. S級及び1級審判インストラクターの資格は、それぞれ本協会主催のS級又は1級審判インストラクター認定審査会に参加して、適格と認められた者に対して本協会が認定する。
2. 2級審判インストラクターの資格は、地域サッカー協会主催の2級審判インストラクター認定審査会に参加して、適格と認められた者に対して本協会が認定する。
3. 3級審判インストラクターの資格は、都道府県サッカー協会主催の3級審判インストラクター認定審査会に参加して、適格と認められた者に対して本協会が認定する。
4. フットサル1級審判インストラクターの資格は、本協会主催のフットサル1級審判インストラクター認定講習会に参加して、適格と認められた者に対して本協会が認定する。
5. フットサル2級審判インストラクターの資格は、地域サッカー協会主催のフットサル2級審判インストラクター認定講習会に参加して、適格と認められた者に対して本協会が認定する。
6. フットサル3級審判インストラクターの資格は、都道府県サッカー協会主催のフットサル3級審判インストラクター認定講習会に参加して、適格と認められた者に対して本協会が認

ラクター並びに2級以下のサッカー審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。

4. 3級審判インストラクターは、3級以下のサッカー審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。
5. フットサル1級審判インストラクターは、2級以下のフットサル審判インストラクター並びに1級以下のフットサル審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。
6. フットサル2級審判インストラクターは、フットサル3級審判インストラクター並びに2級以下のフットサル審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。
7. フットサル3級審判インストラクターは、3級以下のフットサル審判員の指導、評価及び認定審査を務める技能を有する者とする。

第19条〔資格の認定〕

1. S級及び1級審判インストラクターの資格は、それぞれ本協会主催のS級又は1級審判インストラクター認定審査会に参加して、適格と認められた者に対して本協会が認定する。
2. 2級審判インストラクターの資格は、地域サッカー協会主催の2級審判インストラクター認定審査会に参加して、適格と認められた者に対して本協会が認定する。
3. 3級審判インストラクターの資格は、都道府県サッカー協会主催の3級審判インストラクター認定審査会に参加して、適格と認められた者に対して本協会が認定する。
4. フットサル1級審判インストラクターの資格は、本協会主催のフットサル1級審判インストラクター認定講習会に参加して、適格と認められた者に対して本協会が認定する。
5. フットサル2級審判インストラクターの資格は、地域サッカー協会主催のフットサル2級審判インストラクター認定講習会に参加して、適格と認められた者に対して本協会が認定する。
6. フットサル3級審判インストラクターの資格は、都道府県サッカー協会主催のフットサル3級審判インストラクター認定講習会に参加して、適格と認められた者に対して本協会が認

<p>定する。</p> <p>7. 審判インストラクター及びフットサル審判インストラクターの認定審査基準は、本協会審判委員会が定める。</p> <p>8. 審判指導者等が所定の義務を著しく怠った場合には、該当するその審判指導者等の審査協会は、当該協会の審判委員会の審議を経て、本協会がその審判指導者等の降級を行うことができる。</p> <p>9. 第2項、第3項、第5項及び第6項の規定にかかわらず、本協会は、2級、3級の審判インストラクター及びフットサル審判インストラクターの資格認定又は降級を行うことができる。</p> <p>10. 前各項の規定にかかわらず、本協会は、外国で審判指導者等の資格を取得した者については、その技能により適切な各級審判インストラクター又はフットサル審判インストラクターの資格を適宜認定することができる。</p> <p>第19条〔資格の認定期間〕 認定期間を次のとおりとする。</p> <p>(1) 資格を新規に取得した者は、認定月日から当該年度末（3月31日）までとする</p> <p>(2) 資格を更新する者は、4月1日から当該年度末（3月31日）までとする</p> <p>第20条〔資格認定における除外事由〕 審判活動の遂行に支障があると認められる者に審判資格を認定することはできない。</p> <p>第21条〔定年による引退〕 各級の審判指導者の定年による引退は、次のとおりとする。</p> <p>(1) S級審判インストラクターは、満65歳となった日が属する年度の最終日（3月31日）に定年により引退する</p> <p>(2) 1級審判インストラクター及びフットサル1級審判インストラクターは、満70歳となった日が属する年度の最終日（3月31日）に定年により引退する</p>	<p>定する。</p> <p>7. 審判インストラクター及びフットサル審判インストラクターの認定審査基準は、本協会審判委員会が定める。</p> <p>8. <u>審判指導者等が所定の義務を著しく怠った場合には、該当するその審判指導者等の審査協会は、当該協会の審判委員会の審議を経て、本協会がその審判指導者等の降級を行うことができる。</u></p> <p>8. 第2項、第3項、第5項及び第6項の規定にかかわらず、本協会は、2級、3級の審判インストラクター及びフットサル審判インストラクターの資格認定<u>又は降級</u>を行うことができる。</p> <p>9. 前各項の規定にかかわらず、本協会は、外国で審判指導者等の資格を取得した者については、その技能により適切な各級審判インストラクター又はフットサル審判インストラクターの資格を適宜認定することができる。</p> <p>第20条〔資格の有効期間〕 認定<u>後の有効</u>期間は次のとおりとする。</p> <p>(1) 資格を新規に認定された者は、認定<u>月</u>日から当該年度末<u>日</u>（3月31日）までとする。</p> <p>(2) 資格を更新する者は、4月1日から当該年度末<u>日</u>（3月31日）までとする。</p> <p>第21条〔資格認定における除外事由〕 審判<u>指導者</u>活動の遂行に支障があると認められる者に審判<u>指導者</u>資格を認定することはできない。</p> <p>第22条〔定年による引退〕 各級の審判指導者の定年による引退は、次のとおりとする。</p> <p>(1) S級審判インストラクターは、満65歳となった日が属する年度の最終日（3月31日）に定年により引退する</p> <p>(2) 1級審判インストラクター及びフットサル1級審判インストラクターは、満70歳となった日が属する年度の最終日（3月31日）に定年により引退する</p>	<p>この条項から削除し、第29条に記載する</p> <p>「降級」のことはこの条項から削除し、第29条に記載する</p> <p>文言の修正</p> <p>文言の修正</p>
---	---	---

(3) 2級、3級の審判指導者の定年については、それぞれ地域サッカー協会、都道府県サッカー協会が定める

第7節 審判指導者の登録

第22条〔資格の新規登録〕

審判指導者の新規登録は、以下のとおりとする。

- (1) 本協会より新規に資格を認定された審判指導者は、それぞれの所属する都道府県協会に所定の登録料を納付して新規登録の事務手続きを行わなければならない
- (2) 本協会は、審判指導者の資格認定証として審判証を交付する

第23条〔資格の更新〕

審判指導者の資格の更新は、以下のとおりとする。

- (1) 審判指導者が翌年度にその資格の更新を希望する場合、資格有効期間内に更新の審査をする協会が定める講習を受講し、かつ本協会が定めた登録料を支払わなければならない
- (2) 本協会は、更新を終了した審判指導者の資格認定証として審判証を交付する

第24条〔登録料〕

1. 審判指導者は、本協会、地域サッカー協会又は都道府県サッカー協会が定める登録料を、所属する都道府県サッカー協会に納付しなければならない。
2. 本協会への登録料は、毎年1年分を納付するものとする。
3. 本協会登録料の金額は、次のとおりとする。

(1) S級審判インストラクター	20,000円
(2) 1級審判インストラクター	10,000円
(3) 2級審判インストラクター	4,000円
(4) 3級審判インストラクター	2,000円
(5) フットサル1級審判インストラクター	10,000円

(3) 2級、3級の審判指導者の定年については、それぞれ地域サッカー協会、都道府県サッカー協会が定める

第8節 審判指導者の登録

第23条〔資格の新規登録〕

審判指導者の新規登録は、以下のとおりとする。

- (1) 本協会より新規に資格を認定された審判指導者は、それぞれの所属する都道府県協会に所定の登録料を納付して新規登録の事務手続きを行わなければならない
- (2) 本協会は、審判指導者の資格認定証として審判証を発行する

第24条〔資格の更新〕

審判指導者の資格の更新は、以下のとおりとする。

- (1) 審判指導者が翌年度にその資格の更新を希望する場合、資格有効期間内に更新の審査をする協会が定める講習を受講し、適格と認定され、かつ本協会が定めた登録料を支払わなければならない。
- (2) 本協会は、更新を終了した審判指導者の資格認定証として審判証を発行する。

第25条〔登録料〕

1. 審判指導者は、本協会、地域サッカー協会又は都道府県サッカー協会が定める登録料を、所属する都道府県サッカー協会に納付しなければならない。
2. 本協会への登録料は、毎年1年分を納付するものとする。
3. 本協会登録料の金額は、次のとおりとする。

(1) S級審判インストラクター	20,000円
(2) 1級審判インストラクター	10,000円
(3) 2級審判インストラクター	4,000円
(4) 3級審判インストラクター	2,000円
(5) フットサル1級審判インストラクター	10,000円

電子証のことも見据えての文言修正

第19条「資格の認定」にある「適格と認められた者」という文言を当条項に加筆

電子証のことも見据えての文言修正

<p>(6) フットサル2級審判インストラクター 4,000円 (7) フットサル3級審判インストラクター 2,000円</p> <p>第25条〔届出〕 審判指導者は、届出済の審判指導者情報に変更を生じた場合、可及的速やかに所定の手続きにより変更しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">第8節 審判指導者の義務</p> <p>第26条〔義務〕</p> <p>3. 審判指導者は、所定の講習会、研修会等に参加し、自己の審判指導技術の向上に努め、積極的に活動を行わなければならない。</p> <p>1. 審判指導者は、実施講習会、研修会にかかる報告書を、可及的速やかに派遣協会の審判委員会に送付しなければならない。</p> <p>2. 審判指導者は、評価を行った審判員にかかる審判アセスメント報告書を、その試合日を含む2日以内に派遣協会の審判委員会に送付しなければならない。</p>	<p>(6) フットサル2級審判インストラクター 4,000円 (7) フットサル3級審判インストラクター 2,000円</p> <p>第26条〔届出〕 審判指導者は、届出済の審判指導者情報に変更を生じた場合、可及的速やかに所定の手続きにより変更しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">第9節 審判指導者の義務</p> <p>第27条〔遵守義務〕</p> <p><u>1. 審判指導者は、次の事項を遵守しなければならない。</u></p> <p>(1) <u>法令、本協会基本規程及びこれに付随する諸規程等を遵守すること。</u></p> <p>(2) <u>競技規則等を正しく理解し、常に公平公正な判定を行うよう審判員を指導し、日本のサッカー発展に貢献すること。</u></p> <p>(3) <u>所定の講習、研修会等に参加し、審判指導技能の向上に努めるとともに、審判指導者としての自覚と責任をもって行動すること。</u></p> <p>(4) <u>試合に関して不正行為又は操作を疑われることのないよう自らを厳しく律すること。</u></p> <p>(5) <u>差別及び暴力の根絶に向けた努力を継続すること。</u></p> <p>(6) <u>暴力団など反社会的勢力とは一切関係をもたないこと。</u></p> <p>(7) <u>暴力団など反社会的勢力との取引及びあらゆる不当要求を拒否すること。</u></p> <p><u>2. 審判指導者は、審判活動について、次の事項を遵守しなければならない。</u></p> <p>(1) <u>実施講習会、研修会にかかる報告書を、可及的速やかに派遣協会の審判委員会に送付すること。</u></p> <p>(2) <u>評価を行った審判員にかかる審判アセスメント報告書を、所定の期日以内に派遣協会の審判委員会に送付すること。</u></p>	<p>指導者に関する規則「遵守義務」を参考にして加筆</p> <p>審判指導者としての義務をより明確化</p>
---	--	---

4. 傷病、妊娠等のため、審判指導活動を1年以上休止した審判指導者は、活動再開に際し、所定の講習、研修会等に出席しなければならない。

第9節 審判指導者の養成

第27条〔審判指導者講習会〕

1. 本協会は、審判指導者の指導技術向上のため、S級及び1級審判インストラクター講習会を年2回以上、フットサル1級審判インストラクター講習会を年1回以上開催する。
2. 都道府県サッカー協会及び地域サッカー協会は、管轄する審判指導者の指導技術向上のため、それぞれの審判指導者講習会を年1回以上開催する。

- (3) 傷病、妊娠等のため、審判指導活動を1年以上休止した場合は、活動再開に際し、所定の講習、研修会等に出席すること。

第10節 審判指導者の養成

第28条〔審判指導者講習会〕

1. 本協会は、審判指導者の指導技術向上のため、S級及び1級審判インストラクター講習会を年2回以上、フットサル1級審判インストラクター講習会を年1回以上開催する。
2. 都道府県サッカー協会及び地域サッカー協会は、管轄する審判指導者の指導技術向上のため、それぞれの審判指導者講習会を年1回以上開催する。

第11節 審判指導者の資格適格性の再審査及び指導

第29条〔審判指導者の資格適格性に対する再審査及び指導〕

1. 本協会、該当する地域サッカー協会又は都道府県サッカー協会は、次の各号に該当する場合、審判指導者の資格適格性に対する再審査を行うことができる。
 - (1) 第18条に規定する技能を有すると認められない場合
 - (2) 第27条に違反した場合
 - (3) 第31条に定める機関において懲罰が科せられた場合
 - (4) その他審判指導者の資格適格性に疑義が生じた場合
2. 本協会、該当する地域サッカー協会又は都道府県サッカー協会は、審判指導者の資格適格性に対する再審査の結果、審判指導者へ次の指導を行うことができる。
 - (1) 注意（口頭による注意）
 - (2) 厳重注意（文書による注意）
 - (3) 審判指導者資格の停止（一定期間の審判指導者資格の停止）
 - (4) 審判指導者資格の降級（下位の審判指導者資格への変

指導者に関する規則「ライセンス保持者へのライセンス適格性の再審査及び指導」に準ずる

<p style="text-align: center;">第 1 0 節 審判員及び審判指導者の表彰並びに処分</p> <p>第 2 8 条〔表 彰〕 本協会は、審判技術の向上等に著しく貢献のあった審判員及び審判指導者を表彰する。</p> <p>第 2 9 条〔処 分〕 本協会の規律委員会又は裁定委員会、若しくは、本協会基本規程に従い本協会の規律委員会又は裁定委員会から懲罰権を委任された都道府県協会等の規律委員会は、本協会基本規程及び懲罰規程に従い、審判員又は審判指導者に対して懲罰を科す。</p> <p style="text-align: center;">第 1 1 節 審判員及び審判指導者の旅費等</p> <p>第 3 0 条〔旅 費〕 本協会は、審判員及び審判指導者が本協会の依頼により試合及び競技会の審判又は審判指導を行うことを目的として旅行したときは、本節の定めるところにより、旅費及び手当を支給する。</p> <p>第 3 1 条〔旅費の費目〕 旅費の費目は、交通費、宿泊費及び日当とする。</p> <p>第 3 2 条〔旅費の計算方法等〕 旅費の計算方法及び支給基準等は、理事会の決定により別に定</p>	<p style="text-align: center;">第 1 2 節 審判員及び審判指導者の表彰並びに懲罰</p> <p>第 3 0 条〔表 彰〕 本協会は、審判技術の向上等に著しく貢献のあった審判員及び審判指導者を表彰する。</p> <p>第 3 1 条〔懲 罰〕 本協会の規律委員会又は裁定委員会、若しくは、本協会基本規程に従い本協会の規律委員会又は裁定委員会から懲罰権を委任された都道府県協会等の規律委員会は、本協会基本規程及び懲罰規程に従い、審判員又は審判指導者に対して懲罰を科す。</p> <p style="text-align: center;">第 1 3 節 審判員及び審判指導者の旅費等</p> <p>第 3 2 条〔旅 費〕 本協会は、審判員及び審判指導者が本協会の依頼により試合及び競技会の審判又は審判指導を行うことを目的として旅行したときは、本節の定めるところにより、旅費及び手当を支給する。</p> <p>第 3 3 条〔旅費の費目〕 旅費の費目は、交通費、宿泊費及び日当とする。</p> <p>第 3 4 条〔旅費の計算方法等〕 旅費の計算方法及び支給基準等は、理事会の決定により別に定</p>	<p style="text-align: center;">(5) <u>審判指導者資格の失効（審判指導者資格を失効させるが、3級審判インストラクター又はフットサル3級審判インストラクターへの申請は妨げない）</u></p> <p style="text-align: center;">(6) <u>本項第1号から第5号に代えて、又は第1号から第5号と併せて、一定期間の社会奉仕活動への従事、書面による反省文の提出その他必要な指導</u></p> <p style="text-align: center;">更)</p> <p style="text-align: right;">文言の修正</p> <p style="text-align: right;">文言の修正</p>
--	--	---

める。

第33条〔日 当〕

本協会は、旅行日につき一定額の日当を支給するものとし、その金額は、理事会の決定により別に定める。

第34条〔手 当〕

審判員及び審判指導者の手当は、理事会の決定により別に定める。

第35条〔国内で行われる国際試合の手当〕

前条にかかわらず、F I F Aの規定する「国を代表するチームが参加する試合」又はF I F A若しくはA F Cから派遣された外国人審判員の参加する国際試合における国際審判員、F I F A又はA F Cの審判インストラクター若しくは審判アセッサーの手当は、F I F A又はA F Cの規定による金額とする。

第36条〔大会等の規定の優先適用〕

本節の規定と大会等の規定が異なる場合は、大会等の規定を優先して適用する。

第37条〔協 議〕

1. 本節に定めなき事項については、理事会で定める。戦するチームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）の色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、主審は、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
2. 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びストッキングのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

第12節 附則

める。

第35条〔日 当〕

本協会は、旅行日につき一定額の日当を支給するものとし、その金額は、理事会の決定により別に定める。

第36条〔手 当〕

審判員及び審判指導者の手当は、理事会の決定により別に定める。

第37条〔国内で行われる国際試合の手当〕

前条にかかわらず、F I F Aの規定する「国を代表するチームが参加する試合」又はF I F A若しくはA F Cから派遣された外国人審判員の参加する国際試合における国際審判員、F I F A又はA F Cの審判インストラクター若しくは審判アセッサーの手当は、F I F A又はA F Cの規定による金額とする。

第38条〔大会等の規定の優先適用〕

本節の規定と大会等の規定が異なる場合は、大会等の規定を優先して適用する。

第39条〔協 議〕

1. 本節に定めなき事項については、理事会で定める。戦するチームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）の色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、主審は、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
2. 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びストッキングのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

第14節 附則

<p>第38条〔改正〕 本規則の改正は、理事会の議決を経て、これを行う。</p> <p>第39条〔施行〕 本規則は、2014年4月1日から施行する</p>	<p>第40条〔改正〕 本規則の改正は、理事会の議決を経て、これを行う。</p> <p>第41条〔施行〕 本規則は、2014年4月1日から施行する。</p> <p>〔改正〕 2016年3月10日</p>	
---	---	--